

大町市長から市民の皆様へのメッセージ

～マスク着用の考え方の見直しにあたって～

No.28

長野県の新規陽性者数は1月以降減少傾向に転じ、2月10日には全ての医療アラートも解除され、当圏域の感染警戒レベルも「小康期」となっています。これも市民の皆様が日々の感染対策に取り組まれた成果であり、ご協力に感謝申し上げます。

さて、国では2月10日にマスク着用の考え方を見直し、3月13日からマスク着用は個人の判断に委ねることが基本となりました。しかしながら、高齢者や基礎疾患のある方等の重症化リスクの高い方への感染を防ぐことも必要ですので、市民の皆様は、引き続き「感染しない。感染させない。」の心がけにより、基本的な感染防止に取り組んでいただくようお願いします。

1 マスク着用は個人の判断が基本となります

- 本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないようお願いします。

2 周囲への配慮をお願いします

- 医療機関や高齢者施設などの訪問、混雑した公共交通機関を利用するときなどは、周囲の方に感染を広げないためにマスク着用の配慮をお願いします。
- また、高齢者や基礎疾患のある方、妊婦といった重症化リスクが高い方が混雑した場所に行くときは、感染からご自身を守るための対策としてマスクの着用は効果的です。
- 感染拡大状況や事業実施上の理由により、施設管理者やイベント主催者からマスク着用を求められたときはご理解とご協力をお願いします。

3 基本的な感染対策はこれからも実施してください

- 「三つの密の回避」「手指の消毒・手洗い」「こまめな換気」「人と人との距離の確保」といった基本的な感染対策は今後も継続してください。

令和5年3月13日

大町市長 **牛越 徹**